

## さい帯血バンクの保存目標と実施状況について

### 1. さい帯血バンクの保存目標

- 平成 15 年度～平成 18 年度 有核細胞数  $6 \times 10^8$  (6 億)以上のさい帯血を 20,000 個
- 平成 18 年 6 月 30 日の第 28 回造血幹細胞移植委員会において、今後、採取数等の状況を踏まえて検討しつつ、有核細胞数  $10 \times 10^8$ 以上のさい帯血 20,000 個を目標に徐々に取り組むこととされた。
- 平成 19 年度～ 公開対象となるさい帯血： 有核細胞数  $8 \times 10^8$  (8 億)以上 (さい帯血バンクネットワーク事業運営委員会)

### 2. 実施状況について

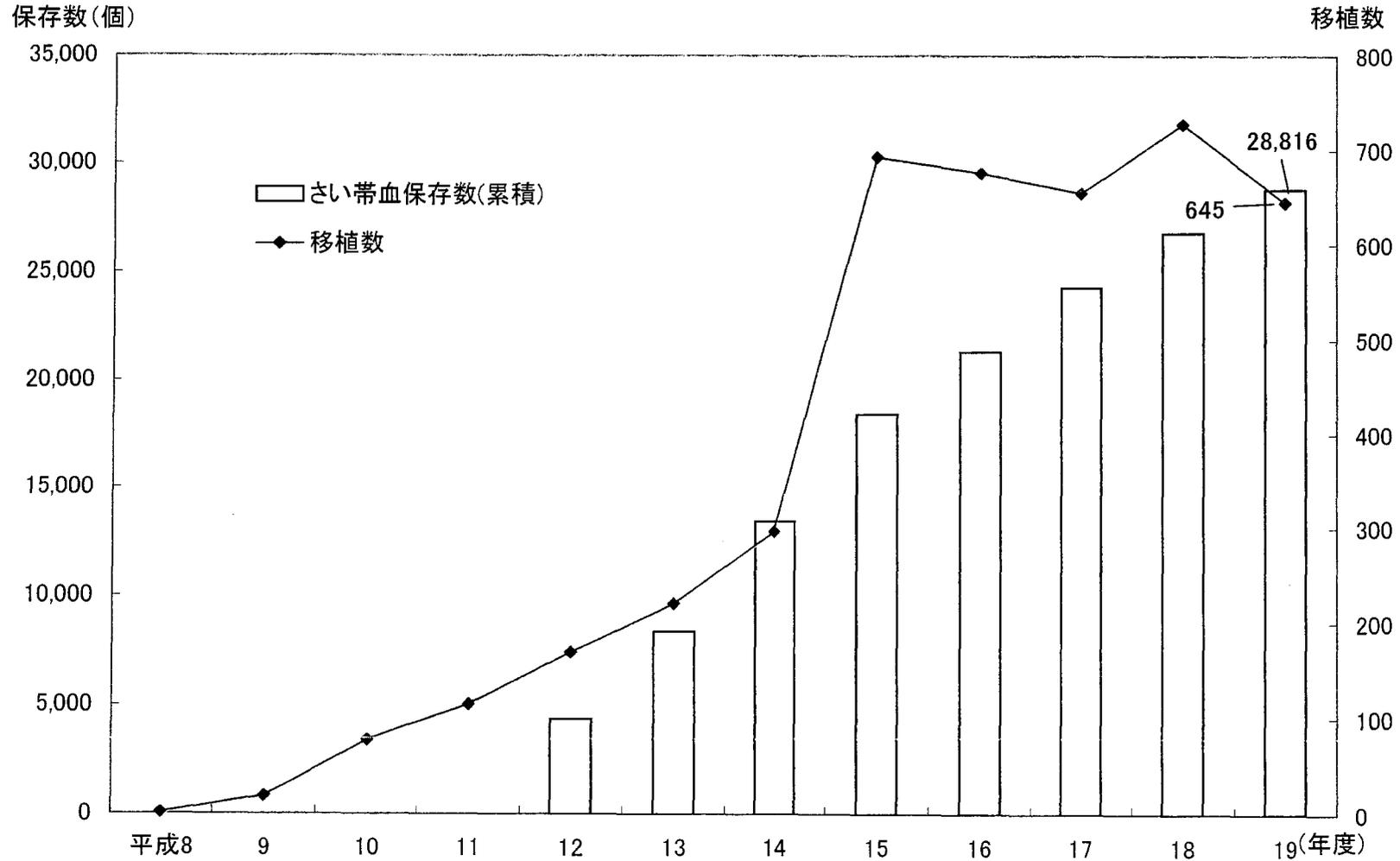
- (1) 平成 19 年度 (20 年 1 月末現在) の保存数(累積)は 28,816 個、移植数は 645 件となっている。(図表 1)  
※ 19 年 (暦年) の移植数は 799 件で過去最多となっている。
- (2) もともと、15 歳未満の小児への移植が多かったが、近年は大人への移植が増えており、多数を占めている。(図表 2)
- (3) 保存数は、近年の数字をみても 18 年度までは有核細胞数  $6 \times 10^8$  (6 億) ～  $10 \times 10^8$  (10 億) のものが多数を占めている。(図表 3-(1)、3-(2))

### 3. 品質、安全性の向上について

医薬品並みの品質、安全性等の確保のために何が必要かという観点から、諸外国における基準等を参考にしつつ、検討を進めることが必要。

さい帯血移植の品質、安全性等の向上について、厚生労働科学研究 (主任研究者：加藤俊一 東海大医学部教授) において調査・検討中。

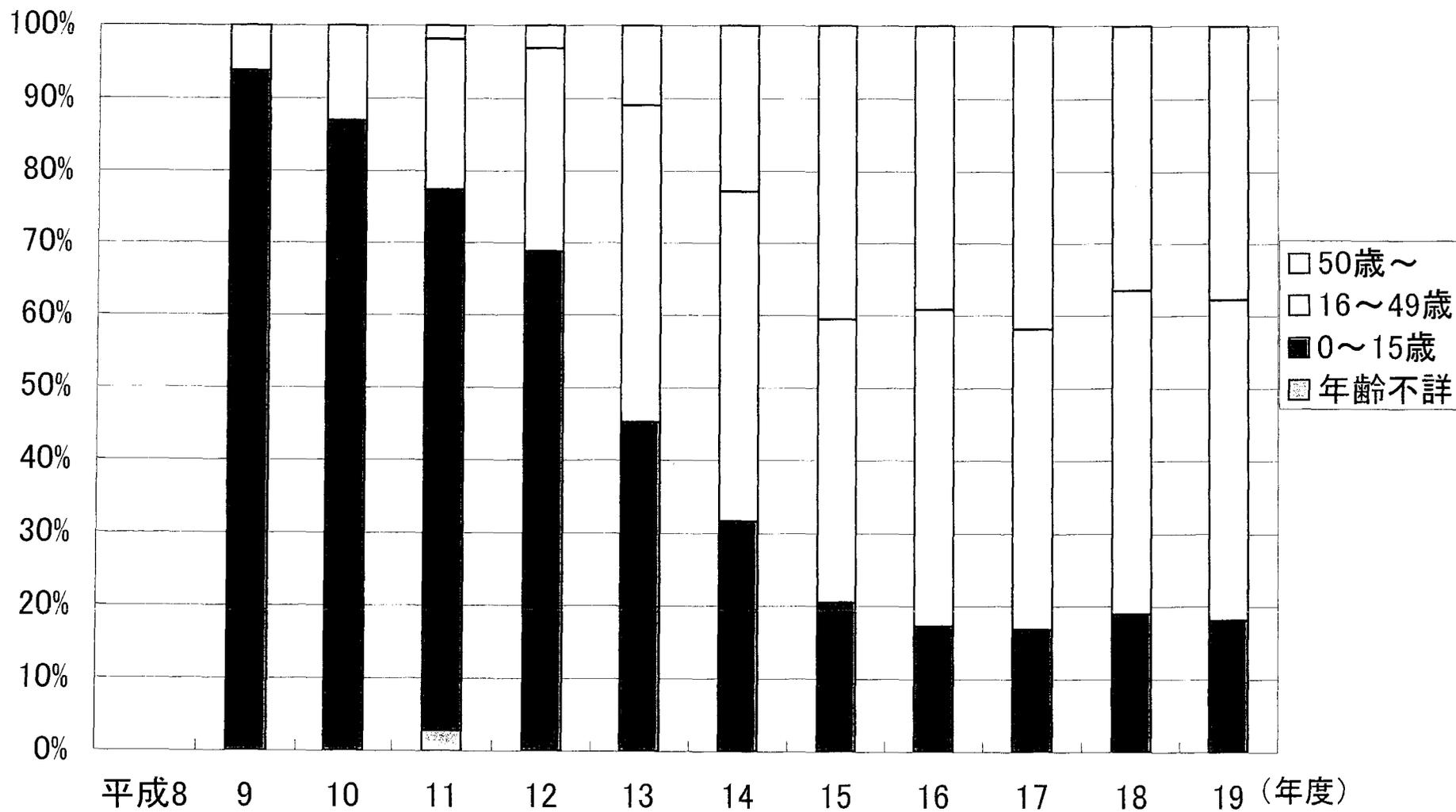
図表1 さい帯血移植の現状(保存数(累積)・移植数の推移)



※ 平成8～10年のデータについては、さい帯血バンクネットワーク設立前に各バンクが扱った数

※ 平成19年度のデータについては、平成20年1月末現在の数

図表2 年度別・年代別さい帯血移植割合



図表3—(1) 年度別有核細胞数階級別さい帯血保存数・供給数・保存残数

(a) 年度別保存数(採取日基準)

細胞数階層	10年度まで	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
6億未満	1035	1262	1816	2593	2733	227	166	274	114	0
6～8億	588	668	983	1502	1724	1731	1479	1315	848	3
8～10億	338	379	534	867	920	1077	1128	1011	799	26
10億以上	309	334	539	845	918	1015	1103	1101	989	70
年度計	2270	2643	3872	5807	6295	4050	3876	3701	2750	99

(b) 年度別供給数(供給日基準)

細胞数階層	10年度まで	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
6億未満	18	24	18	15	14	20	9	5	5	10
6～8億	22	29	26	24	19	23	21	23	25	29
8～10億	20	12	39	36	21	51	38	50	43	35
10億以上	19	42	87	153	253	636	606	602	691	658
年度計	79	107	170	228	307	730	674	680	764	732

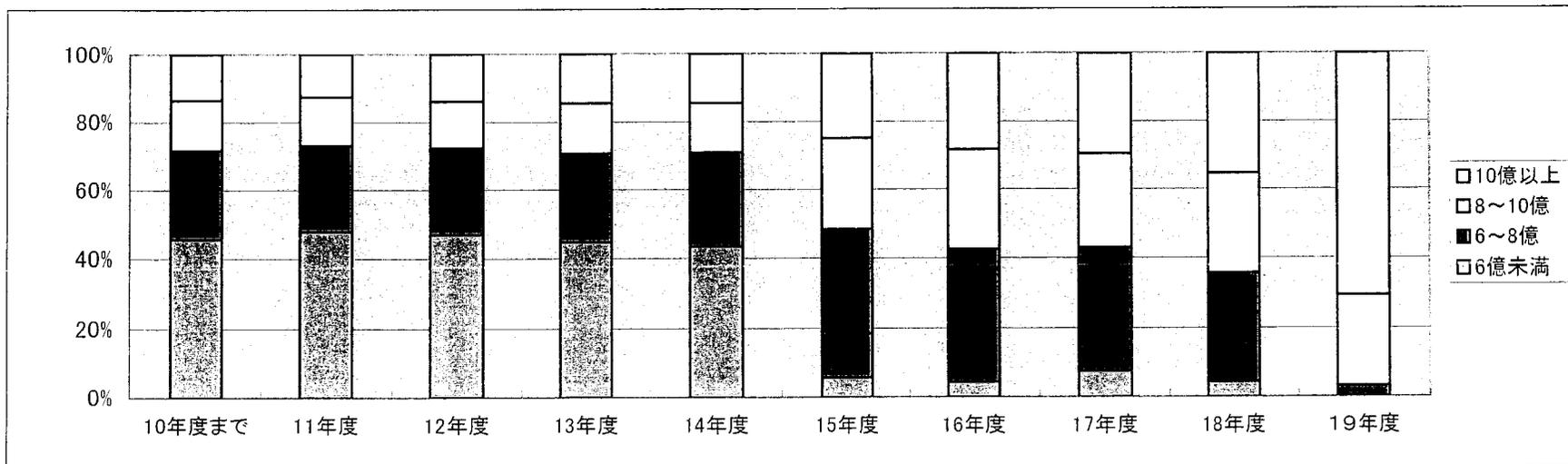
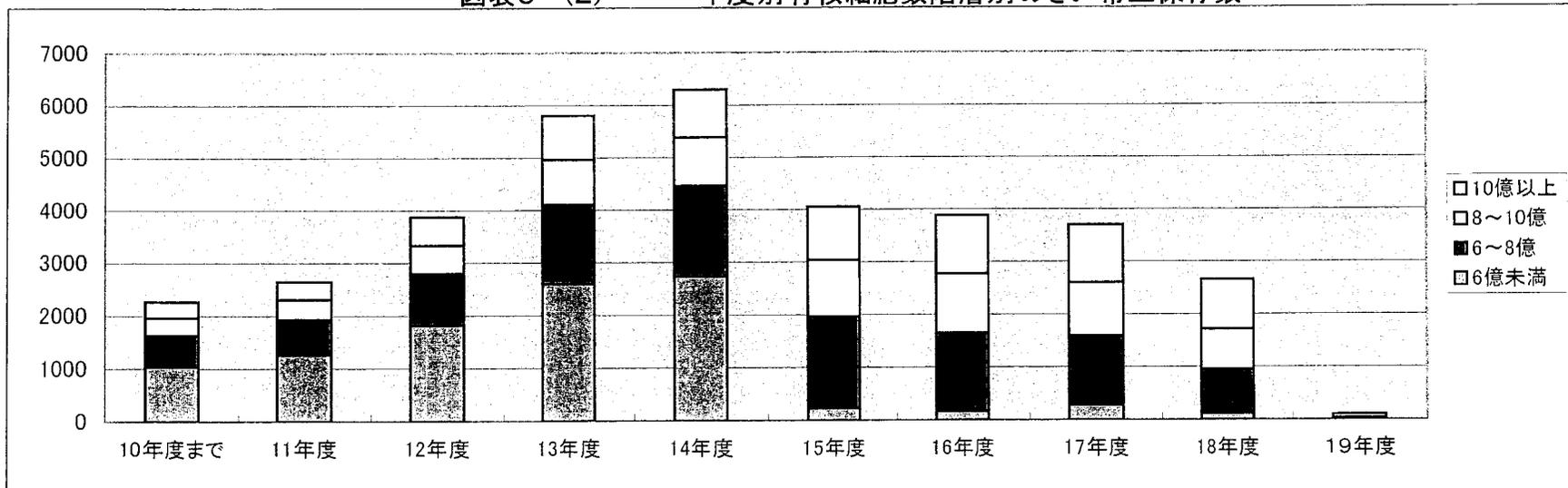
◎ 年度別保存残数( (a)-(b) )

細胞数階層	10年度まで	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
6億未満	1017	1238	1798	2578	2719	207	157	269	109
6～8億	566	639	957	1478	1705	1708	1458	1292	823
8～10億	318	367	495	831	899	1026	1090	961	756
10億以上	290	292	452	692	665	379	497	499	298
年度計	2191	2536	3702	5579	5988	3320	3202	3021	1986

※細胞数階層は有核細胞数の階層。

平成20年2月25日現在

図表3-(2) 年度別有核細胞数階層別のさい帯血保存数



※ 平成19年度のデータについては、平成20年2月25日現在のもの